

医療の現場から

府民のいのちと健康を守る府立病院に ⑬

国際がんセンター支部 橋田 直

患者さんのサポートで日々奮闘

言語聴覚士はリハビリ専門職の一つではありますが、コミュニケーションの中心で、コミュニケーションが得意な人が少ない時期もありました。現在はなんとか増員し3人となり、おそろしく日本で一番言語聴覚士がいるがんセンターの一つとなっています。

言語聴覚士としてのがんセンター勤務

「うまげや、聴覚障害のある児のリハビリや、あるいは成人の脳梗塞後の失語症や嚥下障害などを専門にするところが多いですが、当院ではしんじょうがんと患者さんに対するリハビリを行っています。」



手術をされたことが記憶に新しいですが、彼女のような舌や口唇咽頭など、頭頸部がんの治療に伴う嚥下障害(食事が食べにくい障害)や構音障害のリハビリを行ったり、あるいは脳腫瘍の患者さんのリハビリや、術前後の評価、あるいは術時折覚醒下手術などについて術中に患者さんに目覚めていた状態で、脳腫瘍を取りながら言語評価を行うなどといった仕事をしています。仕事内容的には決して主役になるような職種ではなく、また縁の下の方持とうわげでもないですが、がん患者さんのサポートをする

ために関わる多くの職種の一つとして日々奮闘しています。

勤務・労働条件でまだまだ課題が

当院では私が入職した頃はリハビリテーション科の常勤職員は一人しかいませんでしたが、現在は20人近くにまで増えてきました。しかしまた人員不足であることや、担当制であることから年次有給休暇などが非常に取りにくいこと、また経験年数を経て、様々な分野で結果を出しても他の部門に比べていつまでも昇格が来ないことなど、勤務・労働条件でまだまだ課題があります。引き続き、支部、本部で交渉していきたいと考えています。

火災や落雷 風水害等には 火災共済

- 掛金は全国一律どこよりも安い
- 特約なしでワイドな保障
- 70%で全焼認定(民間の全焼認定は80%)
- 風水害、地震見舞金付
- 他の保険や共済に加入していても契約にもつづいた共済金を給付

たとえば

月掛金 500円で1,000万円の保障!

掛金	木造1口5円(年60円) 耐火1口2.5円(年30円)	構造	耐火	借家にお住まい	家財の保障 400万円
保障額	最高10万円	500円	木造	持家にお住まい	建物の保障 600万円

保障額は居住面積・家族の人数により設定できます。最高保障額は建物4,000万円、家財2,000万円まで。

こんなときも

泥棒の侵入でドアや家具を壊された
(5万円以上の損害が対象)
建物2,000万円 加入
家財500万円 加入
月掛金は625円
(支払例)
修理費165,000円

落雷でパソコンが壊れた!
(耐火構造)
家財500万円 加入
月掛金は125円
(支払例)
修理費186,300円

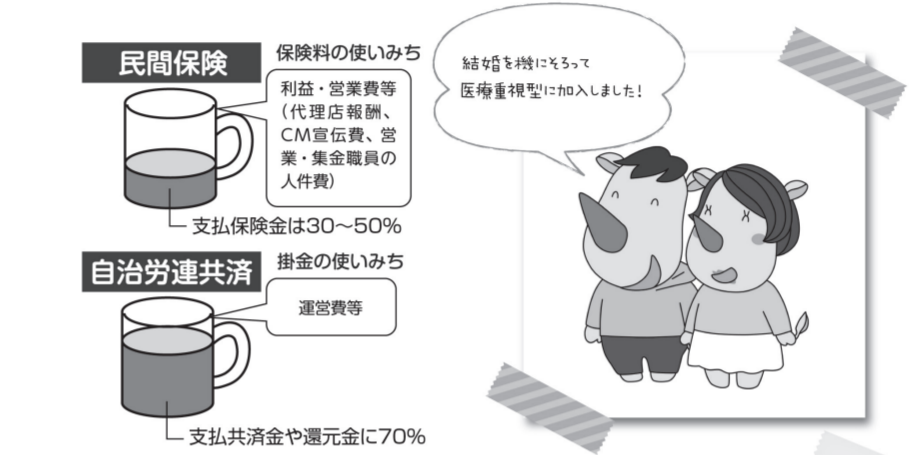
その他にも消防作業による冠水・破壊、落雷、他人の戸室からの水漏れ、破裂・爆発、車両の突入、航空機の墜落などによる損害が生じたときも給付の対象となります。

台風で屋根が一部破損した
(10万円以上の損害が対象)
(木造)
建物1,330万円 加入
家財1,000万円 加入
月掛金は1,165円
(支払例)
被害額100万円以下の場合
風水害見舞金と臨時費用15%で
115,000円

掛金なしで地震見舞金も
自治労連共済の「火災共済」は地震見舞金が基本契約になっており、別途掛金はいただきません。東日本大震災では、被災された加入者の方々に平均100万円の見舞金をお届けし、助け合いの制度として大きな力を発揮しました(民間地震保険の支給平均は約160万円)。

くらしを守る組合の制度だから...

- ### 自治労連共済は
1. 安心のたしかな保障
 - 日帰り入院から支払います。
 - 通院のみでも支払います。
 - 「病気」後遺障害も支払います。
 - 手術見舞金だけでも支払います。
 - 退職後もシニア共済で保障します。
 - がん入院の上積み支払いもあります。
 2. 手ごろな掛金
 - 年齢や性別によって掛金は変わりません。
 - 40歳以下では、さらに掛金負担を抑えます。
*生命掛金を一部お戻しする制度「サポートU40」です。
 3. 使いがてがイイ!
 - 1年ごとに保障の見直しができます。結婚、出産、引越などライフステージごとに保障を充実できます。



たとえば...

病気になる 100万円
病気になる 1日5,000円(通院1日2,500円)
保障のセット共済では
65歳まで
月々1,820円の掛金で加入できます。

＜支払事例＞

項目	金額	月掛金
フィットサルで相手と接触し足を骨折	1,820円	1,820円
(1) 入院(不慮)	5日間 10,000円×5日=50,000円	
(2) 通院	7日間 2,500円×7日=17,500円	
(3) キブス15日間	1,250円×15日=18,750円	
(4) 手術	30,000円	
(5) 診断書料補助	5,000円	
計	121,250円	

自治労連共済

組合員のためのもつけない「保険」だから 安くて安心

自治労連共済は、府職労が加入している自治労連(自治体の労働組合の全国組織)が労働組合法にもつづいて、組合員と家族のための福利厚生事業として運営する自主共済です。

組合員どうしの助け合い制度なので、利益は追求せず、手堅な掛金で幅の厚い給付を行っています。また、連営にあっては、組合員や加入者の声を何よりも尊重し、また、事業内容や決算、予算など、そのすべてを公開して見舞金までつづいた「火災共済」退職後も保障が継続【シニア共済】団体割引15% (今年10月以降は17.5%)

「死亡・後遺障害」「②医療(死亡・後遺障害)」「③交通共済(入院・通院)」「④交通災害共済(死亡から通院まで)」「④手術見舞金」を組み合わせた「セツコ共済」火災だけでなく、地震や風水害を取り扱う支所を設置し、組合員のくらしをサポートする体制をとっています。

この共済には「①生命共済」(死亡・後遺障害)「②医療(死亡・後遺障害)」「③交通共済(入院・通院)」「④交通災害共済(死亡から通院まで)」「④手術見舞金」を組み合わせた「セツコ共済」火災だけでなく、地震や風水害を取り扱う支所を設置し、組合員のくらしをサポートする体制をとっています。

りかごとたいちの職場訪問

こんなところにも組合員⑩

大阪府計量検定所 検査課 中村 雄治さん



計量検定所は、事業所で使われている計量器が正確に作られ、使用されているかを計量法にもつづいて検査、指導している。計量の歴史の古さを感じさせます。

暮らしの「計量」を支えるために

体温計や体重計、水道やガスの使用量、ガソリンの給油、タクシーメーターなど、私たちの身近な生活には「計量」があふれています。もし、正しい「計量」ができなければ、私たちの暮らしもいろいろな影響を受けてしまいます。

正確な計量への信頼が仕事のやりがい

中村さんは18歳で大阪府に入庁し、2年間の本庁勤務の後、計量検定所に異動しました。異動した当初はどんな仕事なのか想像もつかず、なかなかやりがいも感じられなかったのですが、府内各地の事業所や店舗に出向き、検査や指導を行うことで、少しずつ事業所や店舗の状況が改善されていくのを目の当たりにし、やりがいを感じることが多くなりました。

計量検定所のことをもっと知ってほしい

私たちの暮らしに密接にかかわる計量行政ですが、いま全国で民間委託などの動きが強まっています。中村さんは、こうした動きに対して「職場では人が減らされ、ノウハウも継承できなくなっている。意図的に専門性を下げられているように感じています。大阪府は、こうした危機感を募らせている」と危惧を述べています。大阪府では約400ヶ所の事業所や店舗へ立ち入り検査を行っています。ここで働く中村さんを取材しました。

2階から回廊、ヤキの飼育、M1の飼育

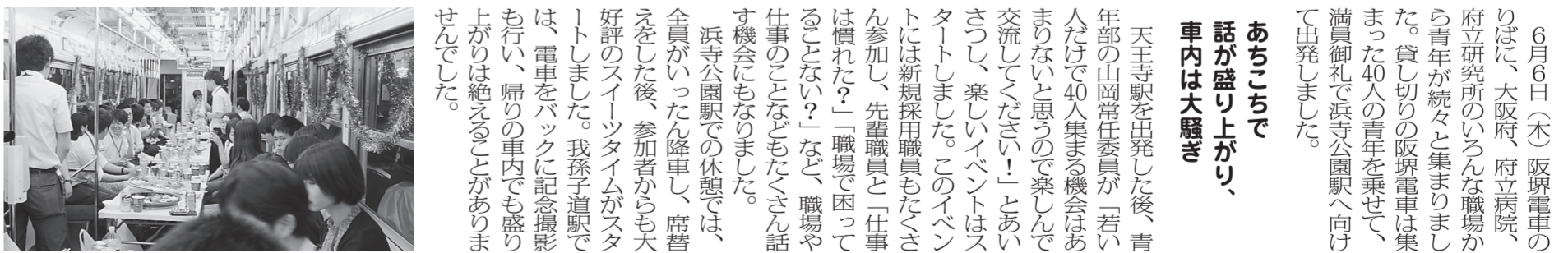
2人の子どもを育てる父親でもある中村さんは、家族との時間も大切にしています。「2階から回廊は、実際にチャレンジしてみたい。庭の草刈りに」とヤギを飼ったりと、真面目に仕事に取り組み姿勢とはまた違う明るさ、また、中村さんの趣味は漫画で、過去には弟さんとコンビニを組んでM1クラブの予選にも出場したそうです。まわりの人々を笑わせることが好きな中村さんの人柄が垣間見えました。



重さの基準となる分銅(おもり)の検査室

つながりひろげよう

阪堺電車でゴー!! 青年40人が大集合



6月6日(木) 阪堺電車のりばに、大阪府 府立病院、府立研究所のいろいろな職場から青年が続々と集まりました。貸し切りの阪堺電車は集まった40人の青年を乗せて、蒲井御礼で浜寺公園駅へ向けて出発しました。

あちこちで
話が盛り上がり、車内は大騒ぎ

天王寺駅を出発した後、青年部の山崎常任委員が「若い人だけで40人集まる機会はありません」と思っているので楽しんで交流していきなさい!とあいさつし、楽しいイベントはスタートしました。このイベントには新規採用職員もたくさん参加し、先輩職員と「仕事は慣れた?」「職場で困ってることない?」「な、職場で仕事のことなど話さず話す機会にもなりました。」

浜寺公園駅での休憩では、全員がいったん降車し、席替えをした後、参加者からも大好評のスイーツタイムがスタートしました。我孫子道徳では、電車をバックに記念撮影も行い、帰りの車内でも盛り上がりは絶えることがありませんでした。

参加者からは「若い人だけでこんなに集まって話す機会はないので本当に楽しかった」「横のつながりができて良かった」「また参加したい!」「若手職員が自分たちで取り組んでいる組合でつづいていってほしい」と思っていました。「1人で参加したのが本当に良かった」などの感想が寄せられました。

青年のつながりを もっと広げよう!

取り組みの最後には、越智副部長が「ボウリング大会や「若手職員のつどい」について案内し「今日参加した人はもちろん、ぜひ、まわりの人も誘ってほしい」に参加したらさらにつながりが広がります!」と参加を呼びかけ、塚元青年部長が「職場で若手はなかなか困ったことがあっても言い出せないことが多いと思います。僕たちは労働組合なので楽しいイベントだけでなく、職場の悩みや不満も解決したいと思っています」とあいさつし、2時間半をかけて、阪堺電車は無事に天王寺駅に到着しました。

